



Ceramic Fan Heater

デロンギ
セラミック ファンヒーター

型式番号

DCH4530J

※本体の型式番号「DCH4530J」の後に続くハイフンおよびアルファベット1文字は、色番号を表すものです。

- ▶ 1350/1300W (50/60Hz)
- ▶ 首振り運転機能付 (左右約 40 度)
- ▶ 送風運転機能付

家庭用



取扱説明書 (保証書付)

この度は、デロンギヒーターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

お求めの製品を正しく安全に使用していただくため、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。

また、お読みの後は、保証書と共に大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1~3
各部の名称とはたらき	4
暖房運転のしかた	5
送風運転について	6
首振り運転について	6
フィルターの 取り外し / 取り付け方法	6
知っておいていただきたいこと	7
お手入れ / 保管のしかた	7
補足 凍結防止に関して	8
まごころ点検について	8
故障かな?	9
アフターサービス	10
仕様	11
メモ	12~13
電源プラグ・コードの 安全チェックシート	14
保証書	裏表紙

安全上のご注意 各注意事項を、必ずお守りください。

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「危険」「警告」「注意」の3つに分け、明示しています。

危険

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

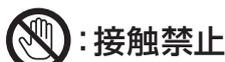
この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



: 禁止



: 接触禁止



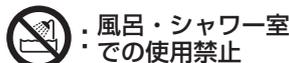
: 水ぬれ禁止



: 分解禁止



: ぬれ手禁止



: 風呂・シャワー室での使用禁止



: 覆い被せ禁止

この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。



: 指示を守る



: 電源プラグを抜く

危険

- 穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない。特に子供のいたずらに注意する
感電やケガをすることがあります。



警告

【電源／コンセントについて】

- 電源は交流100V (50/60Hz) で「15A 125V」と記されている壁面のコンセントに直接差し込む

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。



- コンセントは本製品だけ(単独)で使用する
コンセントの差込み口が2つある場合は片方の差込み口を使用しないでください。



- 取付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取付けの悪い(ガタツキのある)コンセントや差込み口(刃受)のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。
感電や発熱の恐れがあります。



- 延長コードやテーブルタップ、ソケットなどは絶対に使わない



コンセントや電源プラグ/電源コードが異常発熱し、発火する恐れがあります。

【電源プラグ／電源コードについて】

- 変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない

感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター(10ページ参照)に、交換を依頼してください。



- 電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない

電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。



- 電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



ヒーターの運転中に、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は、直ちに電源を切り(=運転中止)、お求めの販売店または当社サービスセンター(10ページ参照)に、ご相談ください。そのまま使用すると、ショートや発火する恐れがあります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。





警告

【電源プラグ／電源コードについて】

- **動作中に電源プラグを抜き差ししない**
ヒーターの運転中に、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。



- **運転の際に電源コードが余っても束ねない**
熱の逃げ場が無くなって高温になり、発火する恐れがあります。



- **電源プラグは、根元までしっかりと差し込む**
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。



- **電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く**
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。



【設置場所について】

- **テーブルや机の下で使わない**
ヒーターの上部をふさぐと、火災やヤケド、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源コード／電源プラグやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。(設置場所については4ページ参照)



【使用中／使用後について】

- **逆さまや横倒し、立てかけて使わない**
火災や故障などの恐れがあり、危険です。



- **スプレー缶などを送風孔の近くに置かない**
スプレー缶が破裂し、火災の原因になります。



- **本製品を分解したり、改造をしない**
故障や発火の恐れがあります。



- **お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない**
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



- **猫や犬など、ペットの暖房に使わない**
ペットが本体や電源プラグ／電源コードなどを傷め、発火や故障の原因になります。



- **カーテンなど燃えやすいものの近くで使用しない**
カーテンなどが本体を覆ってしまうと、過熱により火災の恐れがあります。(設置場所については4ページ参照)



- **本体をタオルや毛布などで絶対に覆わない**
本体にタオルや毛布などをかけたり、濡れたもの(洗濯物など)の乾燥に利用しないでください。過熱により、火災や故障などの恐れがあります。



- **長時間同じ箇所を暖めない**
比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると、低温火傷の恐れがあります。



【運転中について】

- **異常が生じた場合は、使用を中止する**
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り(=運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または当社サービスセンター(10ページ参照)までご連絡ください。



- **ヒーターに寄りかからない**
比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると、低温火傷の恐れがあります。



【お手入れについて】

- **本体のお手入れは電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う**
ヤケド・感電・ケガの原因になります。



⚠ 注意

【電源について】

● ブレーカーが落ちる場合には、電力会社に連絡する

ヒーターを運転中にブレーカー（分電盤内の回路遮断器）が落ちる場合には、お近くの電力会社にご相談ください。詳しくは、7ページ「知っておいていただきたいこと」を参照してください。



【電源プラグ／電源コードについて】

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く

電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



● 運転中は、電源コードを本体に触れさせない

熱で電源コードが傷み、感電やショートの原因になります。



● 電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると、コードの接続部が傷み、感電やショートの原因になります。



【設置場所について】

● 屋外や水／湿気が多い場所（部屋）、浴室で使わない

ショートや感電の恐れがあります。また、硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害の恐れがある場所で使用しないでください。故障の原因となります。



● 毛足の長い絨毯や凸凹のある床は避け、平らな床に置く

ヒーターが倒れるとケガや事故の恐れがあります。



● 人や家具などからは、1m以上離す

ヒーターを寝室などで使用になる場合、寝起き時の転倒事故防止、寝具への接近を考慮して約1m以上の距離を取ってください。



【使用中／使用後について】

● 本体が転倒・落下したときには、使用せず、点検を依頼する

感電・火災・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下してしまった場合は、直ちに電源を切り（＝運転中止）、お求めの販売店または当社サービスセンター（10ページ参照）までご連絡ください。



● 小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う

運転中および運転していないときも、お子様がヒーターのそばにいるときは大人の方が付き添ってください。特にヒーター底部などに触れさせないようにご注意ください。



● ヒーターの移動は、必ず本体が冷えてから行う

取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。



● 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く

誤って、電源が入る恐れがあります。



【運転中について】

● 本体や操作部に水やジュースをこぼさない

本体や操作部に、水やジュース（液体）などをこぼさないでください。万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求めの販売店または当社サービスセンター（10ページ参照）までご連絡ください。



● 運転中および停止直後は、送風孔に触れない

送風孔表面は、最高で約110℃になりますので触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。



【お手入れについて】

● 絶対に水に浸したり、水洗いをしない



● 洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない



各部の名称とはたらき

電力切替えスイッチ

電源スイッチを兼ねたスイッチで、、1、2の目盛に合わせることで、送風運転および暖房の電力レベルを2段階に切り替えることができます。風量は一定です。

位置	状態	消費電力
0 (OFF)	電源オフ	—
	送風運転*	11/10W (50/60Hz)
1 (弱)	暖房運転 (温度：低)	830/800W (50/60Hz)
2 (強)	暖房運転 (温度：高)	1350/1300W (50/60Hz)

※送風運転については6ページを参照してください。

サーモスタット (ノブ)

室温 (= 適温) の設定に使用します。設定後はヒーターの運転を自動制御し、適温を一定に保ちます。ノブを右に回すほど温度が高くなります。



送風孔

風が出てきます。

首振り運転ボタン

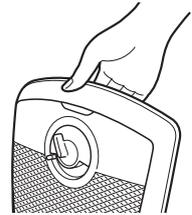
運転中に押すと、首振り運転を開始 / 停止します。詳しくは、6ページを参照してください。

パイロットランプ

電力切替えスイッチを、1、2に合わせて電源を入れると点灯します。点灯時は、電源が入っている (ON) 状態を表します。サーモスタットの設定により消灯 / 点灯を繰り返します。

取っ手 (本体背面)

ヒーターを移動するときは、ここに指をかけ、持ち上げてください。



吸い込み孔 (本体背面)

ここから空気を吸い込みます。吸い込み孔にはフィルターおよびフィルターカバーがついています。取り外し / 取り付け方法については、6ページを参照してください。

電源コード ● 電源プラグ

底面

転倒時自動電源遮断装置

ヒーターを転倒させたり、持ち上げたりすると、運転が停止状態になります。運転を再開する場合は、平らな場所に置いてください。

⚠ 警告 送風孔や吸い込み孔をカーテンや布などで覆わないでください。火災や故障などの恐れがあります。

設置場所

ヒーターは燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。

特にヒーター背面は、吸い込み孔から空気を吸い込めるように、壁やカーテンから20cm以上離して設置してください。また、ヒーター送風孔 (前面) と、家具や壁、カーテンの間は60cm以上離すようにして、温風が直接当たらないようにしてください。

⚠ 注意 温風は、送風孔に近いほど温度が高くなりますので、送風孔に近づき過ぎないように注意してください。また、比較的低い温度でも長時間皮膚の同じ場所を暖めていると、低温火傷の恐れがあります。

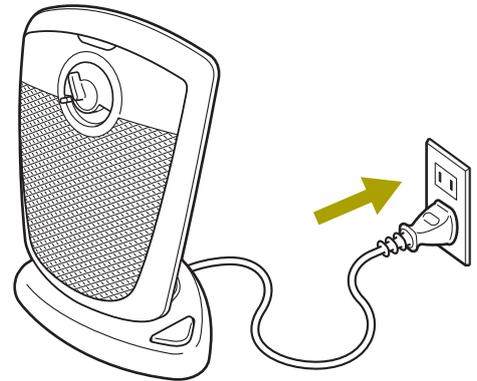
暖房運転のしかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグを壁面のコンセントに直接差し込みます。

根元までしっかりと差し込んでください。また、電源コードは伸ばした状態でご使用ください。

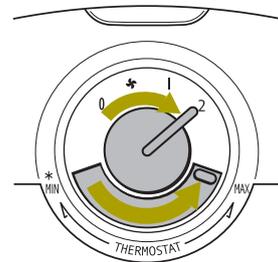
⊘ 延長コードは絶対に使用しないでください。



2 暖房運転を開始する（電源を入れる）

電力切替えスイッチを 1 または 2 に合わせ、サーモスタットのノブを右（反時計回り）に止るまで回します。

電源が入るとパイロットランプが点灯し、送風孔から温風が出てきます。

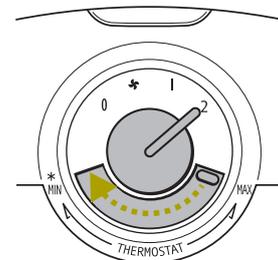


3 サーマスタットで適温を設定する

お好みの温度になったら、サーモスタットのノブをゆっくりと左方向（時計回り）に回し、パイロットランプが消えたところで止めます。

これで適温が設定され、後は自動的に電源の ON/OFF を繰り返しながら適温を保ちます。

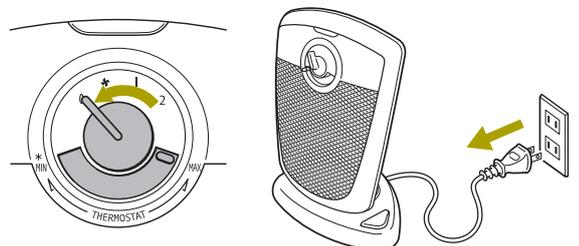
※適温設定後は、パイロットランプも電源の状態に応じて、消点灯を繰り返します。適温を上げたいときは、サーモスタットのノブを右方向（反時計回り）に、適温を下げたいときは、左方向（時計回り）に回してください。



4 暖房運転を停止する（電源を切る）

電力切替えスイッチを 0 (OFF) の位置にします。

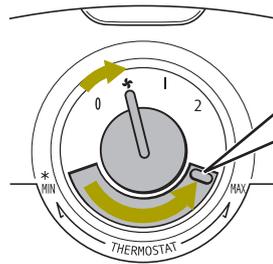
送風が止まり、パイロットランプが消えます。その後、電源プラグをコンセントから抜きます。



送風運転について

電力切替えスイッチを  に合わせることで、暖房をせず、送風のみを行うことができます。  に合わせると、パイロットランプが点灯し、送風が開始されます。

⚠注意 送風運転を行う場合は、サーモスタットを最大にセットしてください。

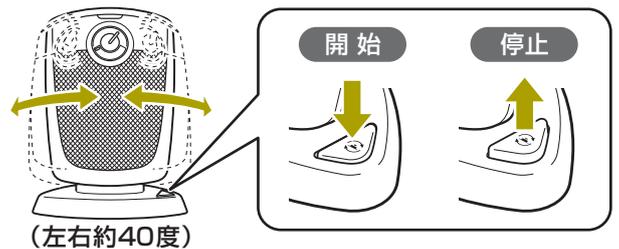


送風運転を行う場合は、サーモスタットを最大にセットしてください。

首振り運転について

運転中に首振り運転ボタンを押すことにより、首振り運転を行うことができます。ボタンを押すたびに首振り運転を開始／停止します。

※暖房運転中にサーモスタットで適温を設定している場合は、暖房運転のオン／オフに合わせて、首振り運転も開始／停止します。



フィルターの取り外し／取り付け方法

フィルターは取り外して水洗い（押し洗い）することができます。汚れ具合に応じてお手入れを行ってください。

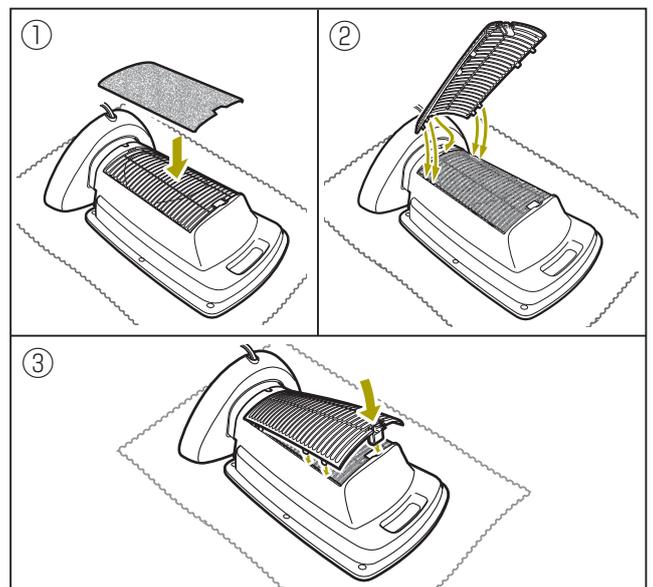
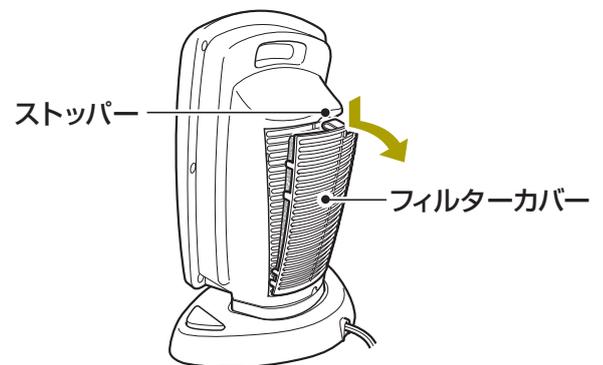
⚠注意 フィルタの取り外し／取り付けの際は、必ず電力切替えスイッチで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●フィルターの取り外し方法

フィルターカバー上部中央のストッパーを下に下げながら、フィルターカバーを手前に引きます。

●フィルターの取り付け方法

- ① タオル等を敷き、吸い込み孔を上にして本体を寝かせます。本体の吸い込み孔に合わせてフィルターを置きます。（フィルターに表裏はありません。）
- ② フィルターカバー下部にある5つのツメを本体の穴に差し込みます。
- ③ フィルターカバー上部にある4つのツメを本体の穴に差し込みます。4つのツメを押し込むとストッパーがパチッと中に押し込まれます。



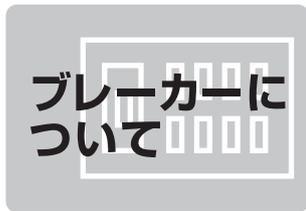
知っておいていただきたいこと



本製品の定格電流は、13.5/13A（アンペア）です。ご家庭内で使用中の他の電気器具（複数）の定格電流との合計値が、契約電力（電気料金の請求書「基本契約欄」に00Aと記載）を超えていないか

どうか確認してください。なお、定格電流の算出方法は、以下の通りです。

$$\text{定格電流 (A)} = \frac{\text{消費電力 (W)}}{100(\text{V: 電圧})}$$



ブレーカー（分電盤内にある回路遮断器）は、その回路で電気を使い過ぎた時や何らかの原因で瞬時に大電流が流れた場合に自動的に電気を断ち、回路を守ります。契約電力が不足している場合や、足りて

いても、その回路の容量を超えて複数の電気器具を使用すれば、ブレーカーが働き（＝落ち）ます。

※契約電力が不足している場合には、電力会社に増量を依頼してください。



1時間当りの電気代（目安）は、暖房する部屋の諸条件（断熱および密閉性能など）により異なってきますが、おおよそ右記の通りです。（1kW/h = 22円として算出した場合）

電力レベル最大: 2 (強) 1350W (50Hz)	部屋が適温に達した後 サーモスタットで調節 (ヒーター稼働率: 60%の場合)
約30円/時間	約18円/時間

お手入れ／保管のしかた

-  お手入れや保管をする場合には、必ず事前に電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行ってください。
-  水洗いできません。また、洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。
-  保管する際は、必ず事前にお手入れをし、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かないでください。



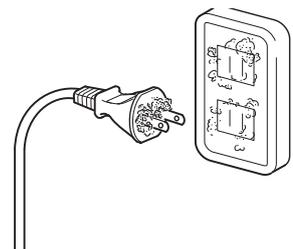
- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



- 本体および壁と床とのすき間に溜っているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。

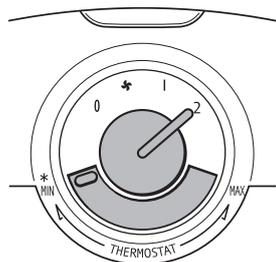


- 壁面コンセント（刃受）および電源プラグ（栓刃）に付着しているゴミやホコリは、掃除機などで必ず取り除いてください。



補足

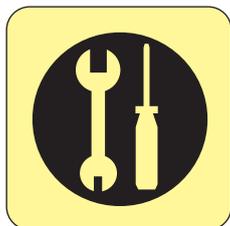
凍結防止機能に関して



サーモスタットのノブを★マークに合わせ、電力切替えスイッチを1～2の目盛に合わせておくことで、凍結防止機能が働きます。周辺温度が5℃以下になった場合に、周辺温度が約5℃になるようにヒーターが運転を始めます。植物等を凍結から保護するために便利な機能です。

周辺温度が5℃以上の場合は、パイロットランプは点灯しません。

まごころ点検について



長年ご使用のヒーターは、点検をおすすめします。

保証期間（3年）が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検（お預かり）をおすすめします。点検の依頼および料金等につきましては、当社サービスセンター（10ページ参照）までお問い合わせください。



この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



故障かな？ ～ 修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切った後（＝運転を中止）、電源プラグをコンセントから抜き、以下の点をお調べください。なお、修理のご依頼は 10 ページの「アフターサービス」を参照してください。

症 状 (状態)	予想される原因	対処のしかた
電力切替えスイッチを入れてもパイロットランプが点灯せず、運転開始しない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりとコンセントに差し込みます。
	送風運転の際に、サーモスタットのノブを左方向の位置にしている	送風運転を行う場合は、サーモスタットのノブを右（反時計回り）に止まるまで回して、最大にセットしてください。
	不安定な場所にヒーターを設置している	本体底面に転倒時自動電源遮断装置が付いていますので、毛足の長い絨毯や凹凸のある床は避け、平らな床に置いてください。
パイロットランプが点灯せず、暖房運転が開始しない	サーモスタットの出力レベルが低い	サーモスタットのノブを、パイロットランプが点灯するまで右（反時計回り）に回します。
	本体が布団やカーテンなどで覆われている	本体を布団やカーテンなどで覆わないでください。本体が異常過熱すると、安全装置が作動し、電源が自動的に切れます。万一、安全装置が作動した場合は、電力切替えスイッチを回して電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜き、本体を冷ましてください。その後、通常の使用手順にしたがって運転を再開してください。少しでも気になる点がございましたら、当社サービスセンター（10 ページ参照）にご連絡ください。
パイロットランプはつかないが、風は出る	パイロットランプが故障している可能性あり	お求めの販売店または当社サービスセンター（10 ページ参照）にご連絡ください。
長時間使用しても、一度もパイロットランプが消えない	サーモスタットが故障している可能性あり	サーモスタットのノブを、パイロットランプが消えるまで左（時計回り）に回してみます。止るまで回してもパイロットランプが消えない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター（10 ページ参照）にご連絡ください。
使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる	延長コードを使ったり、タコ足配線をしている	延長コードやタコ足配線を止め、電源プラグを定格15Aの壁面コンセントに直接差し込みます。
	電源プラグ（栓刃）を、根元までコンセントに差し込んでいない	電源プラグ（栓刃）を、根元までしっかりと差し込みます。不完全な接続は、感電や発熱の恐れがあります。
	差込み口（刃受）が2つあるコンセントで、両方の差込み口を使用している	差込み口（刃受）が2つある壁面コンセントを使用する際は、必ず、片方の差込み口を空けておきます。
	コンセントがガタついたり、差込み口（刃受）がゆるい	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ／電源コードが傷付いたり、変形・破損している	お求めの販売店または当社サービスセンター（10 ページ参照）に、修理・交換を依頼してください。
	電源コードの上に物を置いたり、無理に曲げている	電気の流れる道が半断状態になると、ショートや発火の恐れがあるので、絶対に止めてください。
	電源コードを束ねた状態で使用している	余ったコードも、必ず伸ばした状態で使用してください。束ねると、熱の逃げ場を失って高温になり、発火の恐れがあります。
	電源プラグやコンセントに、ゴミやホコリが付着している	定期的に、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。

アフターサービス

- 1) 使用中に異常(★)が生じた場合は、直ちに電力切替えスイッチで電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、9ページの「故障かな?」で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社サービスセンター(下記参照)にご相談ください。

―――<★以下のような場合には、点検および修理が必要です>―――

- ・使用中、電源コードおよび電源プラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、電源プラグが変形／破損している
- ・本体や操作部に、水やジュース(液体)などをこぼした
- ・本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 2) 万一故障した場合は、保証書に記載されている販売店に①お求めの時期②製品名称と型式番号③故障の状況―を連絡のうえ、修理を依頼してください。

※宅配便等を利用して当社サービスセンター(下記参照)に直送される場合は、必ず故障の状況を記したメモを同封くださるようお願いいたします。

※お送り先については、事前にお電話、あるいはホームページ(下記参照)にてご確認ください。

- 3) 保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては無料で修理いたします。ただし、使用上の注意を無視しての故障や規格外に改造したものなどは、その限りではありません。また、保証期間を過ぎたものについては、有料で修理いたします。

- 4) 補修用性能部品の保有期間について

当社では、このヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 5) デロンギ再資源化システムについて：



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、当社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は当社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

※送り先については、事前にお電話あるいは下記ホームページにてご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または当社サービスセンター(下記参照)までお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター (受付時間▶土、日、祝日を除く毎日9:30～17:00)

コールセンター Tel.0120-804-280 / Fax.045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ(URL) ―― <http://support.delonghi.co.jp>

仕様

製品名称	デロンギ セラミック ファンヒーター	
型式番号	DCH4530J	
定格	電圧 / 周波数	交流 100V / 50/60Hz
	消費電力	1350/1300 W (50/60Hz)
外形寸法 / 質量	幅 24.5 × 奥行 17.5 × 高さ 33.5cm / 1.8kg	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置・復帰型安全ヒューズ	

電源プラグ・コードの安全チェックシート

この度は、デロンギ製品をお求めいただき、誠にありがとうございます。

近年、「トラッキング現象」や「電源プラグとコンセントの接触不良」を原因とする火災事故が増加の傾向にあります。製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ、電源コード、コンセントの点検を行ってください。

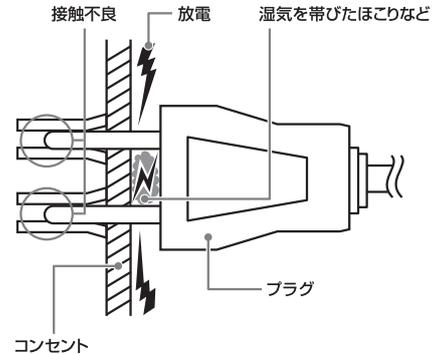
トラッキング現象とは ...

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにすると、徐々に電源プラグとコンセントの間にホコリが溜まります。そのホコリに湿気が加わることによって、プラグの両極間に微小の電流が流れます。この状況が長期間続くと、電源プラグの刃と刃の間の樹脂部分（絶縁材）が徐々に炭化し、電気の筋道（導電路：トラック）が作られます。やがて電気の筋道に大量の電流が流れるようになり、最終的にはショート（短絡）して、発火の原因となります。これを「トラッキング現象」といいます。

電源プラグとコンセントの接触不良に注意しましょう

電源コードを引っ張ったり、電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込まないと、電源プラグとコンセントの接触が不十分な状態（接触不良）で電流が流れることになり、コンセント部が発熱します。この状態のまま放置していると、コンセントの刃受のばね圧力が劣化します。さらに発熱することでアーク現象（空中放電）が発生し、発火の原因となります。

AC100V

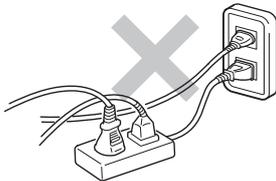


❑ 壁面コンセントを単独で使っていますか？

壁面コンセントは、定格容量 15A のものをお使いください。また、他の器具と併用すると容量オーバーになり異常発熱し、発火の原因になります。

2口コンセントは片方を空けて、単独でご使用ください。

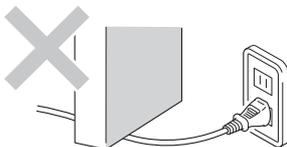
❑ 延長コード、テーブルタップを使っていますか？



コンセントや電源プラグ/電源コードが異常に発熱し、発火の原因になります。

延長コード、テーブルタップの使用は避け、電源は壁面コンセントから直接お取りください。

❑ 電源コードに重いものが載っていませんか？



家具等の下敷きになった電源コードは、無理な力が加わり、電源コードの中の細い銅線が断線することがあります。最悪の場合には発火の原因になります。

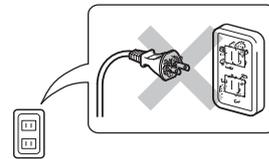
電源コードを家具等で踏んだり、壁に押し付けたりしないでください。

❑ 電源コードを束ねたままではありませんか？

ヒーター運転中は電源コードの温度が人の体温程度（約 40℃）になります。電源コードを束ねたままお使いになると、熱の逃げ場がなくなり、異常発熱し発火の原因になります。

余った電源コードは、伸ばしたままお使いください。

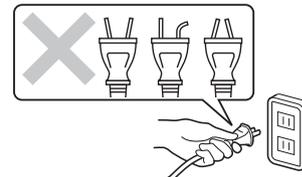
❑ 電源プラグやコンセントにホコリがついていませんか？



電源プラグとコンセントの接触面にホコリや湿気が付着すると、トラッキング現象が発生し、発火の原因になります。

定期的に、電源プラグやコンセントに付着したホコリを掃除機などで取り除いてください。

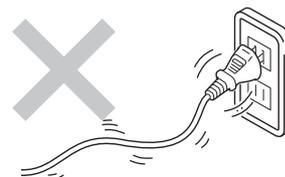
❑ 電源プラグが変形していませんか？



曲がった栓刃は、接触不良時の発熱により、コンセントの刃受を変形させる原因となります。

ベンチなどで手直しをしないで、お求めの販売店または当社サービスセンターにプラグの交換をご依頼ください。

❑ コンセントにガタツキはありませんか？



刃受のばね圧力が劣化したコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにガタツキや緩みのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持込修理

製品名：デロンギ セラミック・ファンヒーター		型式番号：DCH4530J	
お客様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	_____
	ご住所：〒 _____		
販売店	※店名・住所： _____		
	印		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より3年間	保証対象：本体

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行なうことをお約束するものです。

- お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社サービスセンターに直接ご相談ください。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - 本書のご提示がない場合
 - 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送等による故障及び損傷
 - 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - 一般家庭用以外（例えば業務用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷
 - 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in Japan.)

6. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記のデロンギ・ジャパンサービスセンターにお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■修理メモ

デロンギ・ジャパン株式会社

サービスセンター
〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9
安田倉庫(株)内 4号ビル
Tel. 0120-804-280

W-1107K



デロンギ・ジャパン株式会社 サービスセンター

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内 4号ビル
ホームページ<http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地は変更することがありますのでご了承ください。